

【概要】

住宅ローン利用者の実態調査

【住宅ローン利用者調査(2021年10月調査)】

I 調査の概要

2021年4月～9月に住宅ローン(フラット35を含む。)の借入れをされた方を対象とし、利用した住宅ローンの金利タイプや住宅ローン選びに関する事項について調査を実施し、その結果をとりまとめたものです。

(参考) 調査実施時期: 2021年10月28日～11月4日、回答数: 1,577件

II 調査結果の主なポイント

<> は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

1 利用した金利タイプでは、「変動型」と「全期間固定型」がわずかに減少し、「固定期間選択型」が増加 <p. 2>

- ・「変動型」: 67.4% (2021年4月調査^(※) 68.1%)
- ・「固定期間選択型」: 21.7% (同 20.7%)
- ・「全期間固定型」: 10.9% (同 11.2%)

2 今後1年間の住宅ローン金利見通しについて、「ほとんど変わらない」が引き続き6割を超えた一方で、「現状よりも上昇する」が増加 <p. 10>

<今後1年間の住宅ローン金利見通しについて(全体)>

- ・「現状よりも上昇する」: 23.1% (2021年4月調査^(※) 20.4%)
- ・「ほとんど変わらない」: 63.1% (同 65.0%)
- ・「現状よりも低下する」: 4.3% (同 3.5%)
- ・「見当がつかない」: 9.5% (同 11.1%)

3 住宅ローンを選んだ理由は、フラット35以外の住宅ローン利用者では「金利が低い」、フラット35利用者は「返済額を確定しておきたかった」が最多 <p. 13, p. 14>

<住宅ローンを選んだ理由について>

- ・フラット35以外の住宅ローン利用者: 「金利が低い」が70.8%で最多
- ・フラット35利用者: 「返済額を確定しておきたかった」が46.3%で最多
次いで「金利が低い」が36.6%

(※) 2021年4月調査: 2020年10月～2021年3月に住宅ローン(フラット35を含む。)の借入れをされた方が対象